

令和2年度(令和元年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 21-012							
PDCA	事務事業名	母子健康増進事業	部課等名	健康子ども部 保健センター 母子保健担当	担当 内線等	今井 84-0646	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第2章 子育てと暮らしを地域で支え合うまち					
		節： 第1節 子育て・子育て支援の推進					
		基本施策： 3. 健やかな子と親の育ち					
		単位施策： (1) 安心して安全な妊娠・出産への支援					
	根拠法令等	母子保健法、児童福祉法					
	対象・目的	・妊婦や子育て中の家族が安心して育児ができる。 ・妊婦や子育て中の家族が育児に悩んだ時に、相談・支援を求めることができる。 ・妊婦や子育て中の家族が地域に相談できる人がいる。 ・不妊治療をしている夫婦の経済負担を軽減する。					
	目的を達成するための手段・活動内容	・妊娠期から必要な母子に専門職が電話や家庭訪問支援をする。 ・産後まもない母の身体的、心理的負担を軽減させるため、産後ケア事業を実施する。 ・出生2か月目の乳児のいる家庭に民生・児童委員が全戸訪問する。 ・パパママ教室、離乳食講習会、健診事後教室（たんぽぽの日）等講習会を開催する。 ・不妊治療をしている夫婦に対して治療費を一部助成する。 ・乳幼児を含む一般市民に歯科健康診断、相談指導、フッ素塗布を実施する。					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績		29年度	30年度	元年度	単位
		①こんにちは赤ちゃん訪問把握済み		100	100	100	%
		②たんぽぽの日参加人数		164	227	198	人
		③不妊治療費助成申請受理件数		75	71	76	組
		事業費		3,640	3,460	3,718	千円
		人件費		5,361	6,219	6,447	千円
		総事業費		9,001	9,679	10,165	千円
		活動単位当たりのコスト		29	30年度	元年度	単位
		①こんにちは赤ちゃん訪問1人当たりコスト		2,860	2,932	3,241	円
		②たんぽぽの日1人当たりコスト		18,621	14,916	18,427	円
	③不妊治療費助成1組当たりコスト		44,280	48,785	40,495	円	
	成果	成果指標		29年度	30年度	元年度	単位
		①こんにちは赤ちゃん訪問把握率	実績値	100.0	100.0	100.0	%
			目標値	100.0	100.0	100.0	
②たんぽぽの日 親の意識変化率		実績値	87.9	83.0	89.2	%	
		目標値	80.0	80.0	80.0		
③		実績値					
	目標値						
C 課題の整理	観点別評価	必要性		有効性		効率性	
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ない
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	※対象・手段の変更	
		③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない
	事業の評価・課題	B					
		産後ケア事業では、利用できる事業所を5か所に増やし対象者のニーズに応じた支援ができた。保護者が1歳前の子どもの成長発達を促す生活習慣を理解し子どもとの関わり方や遊び方を知ることとした「集まれ！だし丸くんジュニア」を新規事業として開催した。「こんにちは赤ちゃん訪問」は、民生・児童委員と連携し、把握済み率100%を継続達成できた。「たんぽぽの日」では、母が主体的に教室に参加できるように、適宜内容を変更し、参加者に合わせて対応したことにより、保護者の意識変化率の目標を達成することができた。					
A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	改善推進					
		妊娠期からの切れ目ない支援の充実のため、母子手帳交付時にすべての妊婦と保健師が面接できる体制を整えていく。「集まれ！だし丸くんジュニア」では、保護者が地域の遊び場に行くことができるよう子育て支援拠点の職員に参加してもらうなど連携をしていく。「こんにちは赤ちゃん訪問」について、今後も把握率100%が継続できるように実施していく。「たんぽぽの日」では、参加母子の傾向を適切に把握し、母が児とのかかわりにおいてヒントが得られるように、参加者に応じて適宜検討・変更し、教室を開催していく。					
	令和2年度の目標	成果指標		目標値		単位	
		①こんにちは赤ちゃん訪問把握率		100		%	
②たんぽぽの日 親の意識変化率		80		%			